

# 令和6年度 北九州市立沖田中学校経営方針

校長 則松 敬二

## 【 学校経営の基本理念 】

学校は教育の専門機関として、生徒一人ひとりの教育的な課題の達成に大きな責任を負っている。生徒を取り巻く社会は、価値観の多様化、情報化、国際化、高齢化、自然環境の悪化など、予想もつかないほどに大きく変化している。このような社会の中で一人一人の生徒に「生きる力」を育むことは学校教育に課せられた使命である。

本校の教育活動を進めるにあたっては、日本国憲法、教育基本法及び学校教育法、学習指導要領、本市教育委員会の本年度の「指導の重点」の趣旨に沿うものとする。さらに、GIGAスクール構想を柱としたICT環境整備と活用の推進を図る。

本校は沖田中学校区に生活する子どものための学校として、地域の実態、生徒の実態、学校の歴史と伝統を踏まえ、「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に沿って、保護者や地域の信頼にこたえる特色ある学校づくりを目指す。

そのためには、本校生徒の教育に携わるすべての教職員が、学校経営に積極的に参画し、使命感を持って自らの力量を磨き、本校生徒のためによりよい教育活動を創造していかねばならない。教育活動の推進にあたっては公教育の奉仕者としての自覚のもとに、教育の中立性及び公平性を重んじ、常にプラス思考でバランス感覚を研ぎ澄まし「すべての子どもを我が子として」の視点で家庭や地域と十分に連携を図りながらその使命を果たしていく。

## 【 学校の教育目標 】

校訓 **「健康」**

～ 心身ともに健康であれ ～

生徒一人一人が生き生きと輝き、心身ともに健康で

やさしさと逞しさと自立心をもち、根気強く頑張る生徒の育成

### 1. めざす学校像

- (1) 基礎基本の確実な定着を図り、生徒の学力保障・進路保障に努める学校
- (2) 教職員と生徒同士の信頼関係を確立し、一人一人の生徒が大切にされ、生徒が温かい雰囲気の中で安心して自分の力を伸ばすことの出来る学校
- (3) 明るく、活力に満ちた、清潔で美しい学校
- (4) 一人一人の人権を尊重し、差別やいじめのない学校

### 2. めざす生徒像

- (1) **お**・・・おもいやりの心を持ち、本当の友だちや仲間を持つ生徒
- (2) **き**・・・規律正しく、何事にもやる気をもってチャレンジする生徒
- (3) **た**・・・たくましい活力とパワーあふれる心と身体をもった生徒

### 3. めざす教師像

- (1) 専門職としての使命感と力量を持ち、わかる授業を創造する教師
- (2) 組織の一員をして協調して教育活動に参画する教師
- (3) 生徒理解を基本とし、「すべての子どもをわが子として」の視点で指導する教師
- (4) 人間尊重の精神を基盤として、どの生徒にも公平に接し、信頼される教師

## 【本年度の重点目標】

### 4. 本年度学校経営の重点

- (1) すべての教職員の共通理解と協働体制のもと学校の教育力を高める。
- (2) 新しい生活様式の順守と、安心・安全な学校生活が送れるようにする。
- (3) 生徒個々の個性を尊重するとともに多様な価値観を尊重できる人権感覚を身につける。
- (4) 業務改善の意識を高め、子供と向き合う時間の確保に努める。
- (5) 安全で快適な教育環境の整備に努める。

### 5. 本年度経営の具体的努力目標

#### (1) 生徒指導の充実

- ① 挨拶の徹底、掃除（黙動）指導の徹底、時間厳守の徹底を図る。
- ② 生徒・保護者との信頼関係を基盤とした積極的な生徒指導の推進に努め、常に危機管理意識を持って問題行動の早期発見・早期解決に努める（定例生徒指導委員会の開催、報告・連絡・相談・記録・詰めの指導の徹底）
- ③ 人間的なふれ合いを基盤にした豊かな部活動の推進を目指す。（保護者との連携）
- ④ 生徒会執行部の指導を通して生徒会を活性化し、生徒会執行部生徒を手本に全生徒を感化する。

#### (2) 学習指導の充実

- ① 1時間1時間の授業の「めあて」「まとめ」「振り返り」を明確にし、「わかる授業」の工夫に努める。
- ② ICT環境整備を推進し、多様な学習形態の提供に努める。
- ③ 組織的・計画的・継続的な教育活動の展開に努め、授業時間の確保を行う。

#### (3) 豊かな心を育む教育の充実

- ① 豊かな体験活動を工夫し、集団生活を通して社会の一員としての自覚や人間としての生き方について自覚を深め、自他の生命や人権を尊重する心を育む。（道徳の時間、総合的な学習の時間の充実）
- ② 生徒一人一人のよさを見つけて伸ばし、生徒の存在感と自尊感情を高める。（学級活動の工夫）

#### (4) 特別支援教育の推進

- ① 特別支援教育コーディネーターを核として研修を推進し、特別支援学級及び通常学級における特別に支援を要する生徒の「困り感」の実態把握に努め、一人一人の生徒のニーズにあった教育活動を推進する。個別最適化を踏まえた合理的配慮の必要性を全職員で共有する。

#### (5) 開かれた学校づくり、信頼される学校づくりの推進

- ① 地域行事への積極的な参加を通して、地域・保護者とふれあい、信頼関係の構築に努める。

#### (6) 教育環境の整備と教育予算の効率的な執行

- ① 学校施設の安全点検、維持管理に努め、安全で効率的な教育環境の整備に努める。
- ② 備品・消耗品の適切な管理と丁寧な取り扱いに努める。

#### (7) 明るく活力に満ちた職場環境の醸成

- ① 教職員一人一人が教育目標達成に向けて、自己の能力を最大限に発揮する。
- ② 得意分野は倍の働きを、苦手な分野は助け合う思いやりのある職場風土を醸成し、学校組織全体としての組織力の向上を図る。

#### (8) 学校給食を通して『食育』の推進を図る。

- ① 食の重要性を理解し、感謝の気持ちをもって給食残食ゼロを目指す。

#### (9) 「生き方指導」を念頭に置いたキャリア教育の推進と充実

- ① 将来の自分を見据えたキャリア教育（進路指導）
  - 自己の適性を知り、自分を伸ばす意欲の向上
  - 進路情報の適切な提供
  - 自治的活動を通じた「自立心」の育成
  - 生き方を探る体験活動の充実